

校友会報



Contents

研究室から (看護学部)

校友インタビュー

ホームカミングデー

お知らせ

- ・受験対策動画
- ・日本学生支援機構奨学金
- ・地域連携フォーラム

大学の様子

- ・石川県珠洲市
災害復興支援ボランティア活動

部活動報告

- ・室内練習場利用開始
- ・クラブ活動支援

インフォメーション

- ・ひとくちメモ (大学概要)
- ・結婚式祝電サービス
- ・姓名・住所等変更届のお願い
- ・個別校友会助成のご案内
- ・赤穂ゴルフカップのご案内



校友会  Instagram

フォローお願いします

大学の様子・校友会の活動等のお知らせします。
是非、ご登録ください。

https://www.instagram.com/kusw_kouyukai/
アカウント: kusw_kouyukai



研究室
から

From laboratory

母校訪問のススメ

看護学部 看護学科 藤井 可苗 准教授

研究活動：地域看護学

研究分野：思春期・子育て支援

卒業生のみなさん、いかがお過ごしでしょうか？看護学部1期生の入学とともに本学に着任しました藤井です。本稿を書くにあたって、時間が経つのは早いものだとしみじみ感じています。もう既に1期生から14期生までの方が、社会で活躍されています。卒業時の就職先で継続して勤務している方、転職した方、資格取得した方、休職中の方、離職した方など、それぞれの道を選択し歩まれていることでしょう。

看護職は、どのような健康レベルや年代であっても、住み慣れた地域で安心・安全に生活できるよう支援する一職種です。一人や看護職だけでできることは多くなくても、多機関・多職種と連携することで支援の幅が広がります。そして、看護職が働く場も働き方も多様化していますね。みなさん自身もさまざまな経験を重ね、成長し、活躍されていることでしょう。一方で「このままの看護でよいのだろうか？」「もっと良いケアをするために、どうしたらよいのだろうか？」等、悩む機会も多いの

ではないでしょうか。私自身もそうでした。その際、母校の図書館を利用し、恩師と出会い、話を聞いてもらったことを今でも覚えています。みなさんが卒業されてから本学のことを思い出されたことは、どのくらいあったでしょうか？

この記事に目を止め、懐かしいと感じてくださった方、ちょっと立ち止まりたくなっている方など、いつでもみなさんをお待ちしています。本学には大学院もありますので、実践活動を振り返り、実践のエビデンスを明らかにすることは、みなさん自身はもちろん、看護の発展にもつながります。ぜひ、母校に遊びに来てください！卒業生のお名前はすぐに思い出せなくても、さまざまなエピソードから記憶は蘇りますので、たくさんのエピソードをもっていらしてくださいね♪どんな話が聞けるのか楽しみにしています。



校友インタビュー

Q 現在のお仕事について

救護施設で働いています。主に精神障害や知的障害を抱えている高齢者の方が多く入所されています。それぞれケース担当を持ち、利用者が施設で共同生活を行いながら、地域移行ができるよう支援しています。また、地域移行後も地域で安心して生活していけるよう訪問指導などサポートを行っています。利用者の方はほとんど自身のことは自分でできるため、介護は必要ありませんが、高齢化が進んでいるため認知症や介護が必要な利用者が増え、介護の知識が必要になってきました。

Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

社会福祉士の資格獲得を目指しています。
今まで2回受けましたが、どちらも結果に繋がらなかったため3度目の正直!!
頑張りたいと思います。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

私は意見を相手に伝えるのが苦手なのですが、福祉の現場では人対人なので、利用者や同じ場所で働く職員ともコミュニケーションは必要です。私は働く上でコミュニケーションが大切だと思います。実際に、こう思っているのに上手く言葉にできず伝わらないことがあり、悔しい思いをしたことがあります。現在も同じような状況になることがあるのですが、上司や先輩は私が話すのを待ってくれたり、意見を言いやすい環境を作ってくださるため楽しく仕事ができています。みなさんも人とのコミュニケーションは大切にしてください。



瀧口 有規子さん

社会福祉学部 社会福祉学科 20期生
令和元年度（令和2年3月23日卒業）
阪神福祉事業団
ななくさ厚生院（救護施設）
支援員



中島 莉葉さん

教育学部 児童教育学科 6期生
令和4年度（令和5年3月16日卒業）
鳥取市立修立小学校
小学校教諭

Q 現在のお仕事について

鳥取県で小学校の教員として働いています。本校には1～6年生の学級に加えて、6つの特別支援学級があります。今年度はそのうちの、主に知的障がいをもつ児童が在籍するクラスを担任しています。

Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

今の目標は、あたたかい雰囲気のある学級をすることです。子どもたちが安心して過ごせる場所があることで、チャレンジすることを恐れず、前向きに学習や行事等に取り組むことができると感じたので、あたたかい学級作りを意識しています。4月当初は、規律を定着していくことで落ち着いて過ごせる学級作りに重点を置いていました。しかし、児童によっては、複雑な背景をもっていることで、前向きに学校に登校したり学習に向かったりということが難しい状況があることが分かり、まずはこのクラスに居ると落ち着く、安心するという気持ちをもってもらいたいということから、あたたかい学級づくりを目指すようになりました。特に、褒める・認める言葉がけや児童の話を徹底的に聴くということを意識しています。最近では、「やってみるから先生見といて!」という声や、「行ってきます!」と元気に交流学級に向かう児童の

姿が見られるようになりました。

今後は、積み上げてきた安心感の上で、意欲的に学習に向かえるような学級作りにもあわせて取り組んでいきたいと考えています。一人一人の特性に応じて授業構成を変えたり、家庭学習を工夫したりしながら、子どもたちの学習への意欲を高めると同時に、成功体験を増やして自己肯定感を高めることにも繋げていきたいです。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

今やるべきことに一生懸命に取り組むこと、何事にも前向きに取り組む、身の回りの人を大切にすることが大事だと思います。これは子どもたちにも伝えていることです。まずは、やらなければいけないことは最後まで丁寧に取り組むことが大事だと思います。また、挑戦しなくては何も始まらないので、少しでも良いから自分を信じてやってみるということは、自分も教員を目指すにあたって意識していました。そして、お世話になった方や先生、支えてくれる友達に感謝の気持ちをもつこと、伝えることがとても大切だと思います。4年間という時間は長いようであつという間に過ぎてしまうので、今しかできないことを存分に楽しみながら、夢に向かって是非頑張ってください。応援しています。

Q 現在のお仕事について

私は、はりま姫路総合医療センター（以下はり姫）のEICUという集中治療室で働いています。はり姫は三次救急の病院として重症患者が運ばれてきます。その中でも生命の危機にある患者さんがEICUに入院されます。心筋梗塞やくも膜下出血、交通事故や熱傷の患者さんが多いです。入室される患者さんは、人工呼吸器など様々な機械に繋がれているため自分の声で話すことができません。そのため、バイタルサインの数値や検査データ、日々の経時的な変化をアセスメントし、看護に反映させる力が求められます。しかし、アセスメントする上で様々な視点や観察が必要となるため、看護の難しさを日々感じています。その都度、先輩や医師に相談し積極的にカンファレンスでも発言することで不安や悩みを解消しています。まだ2年目ですが、看護に年数は関係ないという私の尊敬する先輩の言葉を糧に日々頑張っています。

Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

現在2年目であり、今は患者さんのアセスメントを深め、それを看護に反映させることを目標に頑張っています。今後は、呼吸療法認定士など集中治療の現場に生かせる資格を取りたいと考えています。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

私が4年間の大学生活で大切だなと感じたことは、オンとオフをしっかりと分けることです。大学生活は長いようで短いので楽しむときは楽しむ、頑張るときは頑張るといったようにメリハリをつけることが大切だと思います。就職活動も勉強も、ずっと頑張っているのは難しいので時々息抜きをして自分を労わって下さい。就職活動で私が頑張ったことは、試験日を早めに調べておくこと、面接練習をすることです。早めに試験日を把握しておくことで焦らず準備を進めることができます。面接練習は、志望動機や学生時代頑張ったことなど、絶対に聞かれるような内容を暗記して、その他の質問にも臨機応変に答えられるように早めに練習してもらっていました。最後に、大学生活ではできるだけたくさん行事に参加してください。私は、文化祭やオープンキャンパススタッフを経験して横だけでなく縦の繋がりが増えました。他学部の友達や先輩と仲良くなることで学生生活の楽しさがより増えると思います。もうすぐ国家試験を控えている4年生の皆さん、この時期で大切なものは新しいことを覚えるよりも今まで勉強してきたことを確実に答えられるようにすることです。無理はせず、体調に気を付けてもう少し頑張ってください。応援しています。



上田 琴乃さん

看護学部 看護学科 13期生
令和3年度（令和4年3月23日卒業）
はりま姫路総合医療センター
EICU・CCU（集中治療室）
2年目

ホームカミングデー



10月7日(土)・8日(日)に校友会主催のホームカミングデーを開催いたしました。新型コロナが5類移行となって初の開催となりました。卒業してから初めて大学に帰ってきてくれた卒業生、10年ぶりに帰ってきてくれた卒業生、コロナでなかなか会えなかった友人と待ち合わせミニ同窓会をしていた卒業生。例年に比べて参加人数は少なかったですが、懐かしい友人や教職員との再会を楽しみました。昨年は大学祭のイベントで子どもに大人気のキャラクターショーがあったため、お子様連れの卒業生の方も多く、母校に足を運んでいただく良いきっかけになったのではないかと思います。

令和4年度卒業生対象 ホームカミングデー

7月13日(木)、8月13日(日)に令和4年度卒業生を対象としたホームカミングデーを開催しました。コロナの影響もあり、3年ぶりの開催となりました。

各日程計42名の卒業生が来場、同級生や恩師と再会して、ひとときの談話を楽しみました。卒業して約4ヶ月、どの卒業生も社会人らしくしっかりした表情に変わっていると感じました。悩みや不安を感じることもあり大変なときもあると思いますが、たまには母校に戻って来てリフレッシュしつつ頑張ってください。



令和5年7月13日 看護学部



令和5年8月13日 社会福祉学部・教育学部

お知らせ

社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験 受験対策動画をUPしました

社会福祉学部ではこのたび、卒業生の皆さんに向け、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の受験勉強に資することを目的とした動画を作成しました。

社会生活や日常生活で忙しい合間を縫って学習を継続していくことは、大変な労力と時間を要するかと思いますが、これらの動画が、皆さんの効率的な学習の一助となることを願っています。

健康に留意され、日々が潤いと活気に満ちたものとなることを願うとともに、何かの折に本学の近くまで来ることがあれば、元気な顔を見せてください。

2023年12月 社会福祉学部 教員一同



動画の視聴方法

関西福祉大学校友会ホームページのページ右下の「社会福祉学部国試対策動画」のバナーをクリックしてください。

【視聴にはパスワードが必要です】

ご視聴希望の卒業生の方は、下記を明記の上、swkokushi-koyukai@kusw.ac.jp までお問い合わせください。折り返しパスワードをお送りします。

- 1 お名前(結婚等で改姓されている方は在学中の旧姓)
- 2 フリガナ
- 3 卒業年度
- 4 在学中の学籍番号
(失念した場合は不要)

関西福祉大学校友会ホームページ▶



日本学生支援機構奨学生であった卒業生の皆様へ（日本学生支援機構からのお願い）

在学中のさまざまな機会で行い、資料を配布しておりましたが、改めて〈注意喚起〉のためにお知らせさせていただきます。

皆様の返還金は、在学中に設定したリレー口座からきちんと引き落とされていますか。口座振替の手続きを行っていないため日本学生支援機構から請求書を受け取って、まだ支払いが済んでいないようなことはありませんか。もう一度、ご確認ください。

万一、返還が困難な場合は、返還期限猶予制度や減額返還制度などの仕組みがありますので、〈日本学生支援機構奨学金相談センター〉に電話してください。ご相談の際には、奨学生番号をお忘れなく。

奨学生であった皆様の返還金は、次の奨学金の原資となります。皆様の後輩学生のためにも、皆様に格別のご留意をお願いする次第です。

日本学生支援機構奨学金相談センター

電話 0570-666-301

海外からの電話、一部携帯電話、一部IP電話

専用ダイヤル 03-6743-6100



詳しいことを知りたいときは▶

第8回 関西福祉大学 地域連携フォーラム

令和5年度の地域連携フォーラムは、赤穂市と深い結われのある、兵庫県豊岡市の芸術文化観光専門職大学の学長であり、劇作家・演出家の平田オリザ先生をお迎えし、和やかな雰囲気であり多岐にわたる時間を過ごしました。テーマは、「わかりあえないことから一いま求められているコミュニケーション能力」で若者から高齢者すべての方へのメッセージであった講演内容でした。

内容は、コミュニケーション能力の本質を改めて考えるきっかけになった…と私が勝手な解釈をしましたが、言語のみならず、コミュニケーションをとろうとする方の年齢・国・人生・個性といった「context」（意味：人脈・イメージ 先生がおっしゃる意味：その人がどんなつもりでその言葉をつかっているのか）を受けて、一律のコミュニケーションでは図りきれない、多様性に富んだコミュニケーション能力が今後必要であるという内容でした。つまり、話し相手が何を求めているのか？を考える能力が今後必要になるということであったと思います。また、先生は、「論理的に喋れない人の気持ちが分かる人にならないといけない」ともおっしゃられ、現在の生き苦しさの根底にあるものをコミュニケーションで変えられるのではと感じました。「普遍的なコミュニケーション能力」はないことから人間は進化していかなければなりません。また、わかりあえていると思っていると落とし穴があり、contextのずれは、信頼関係を危くすることにもなりかねないといえます。先生は最後に、話しかけやすい場・環境設定も大切であり、また、エンパシー（共感）を付けるには演劇がよいと話されました。

ある程度の年齢である大学教員として、若者とのコミュニケーションは時代を超え、お互いにイマジネーションを最大に働かせ、謙虚な気持ちを忘れないことで、信頼が築けるのではないかと思います。

地域センター長 廣 陽子



大学の様子

関西福祉大学 萬代ゼミ 石川県珠洲市災害復興支援ボランティア活動

この度は、令和6年能登半島地震により、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和5年8月7日～10日、本学社会福祉学部萬代ゼミ15名が令和5年5月に石川県能登半島における地震で被災した石川県珠洲市の災害復興支援ボランティア活動を行いました。珠洲市では、特別養護老人ホーム第三長寿園、珠洲市立珠洲焼資料館、かさやオカリナ工房等を訪問。特別養護老人ホーム第三長寿園では盆踊り、ヨーヨー釣りを通して高齢者と楽しく交流する活動を行い、元気を届ける中で人との交流が活力を生み出すということを学びました。そして、災害時のお話を伺い、日常のコミュニケーションや様々なイベントを通して、職員と利用者の関係性が築かれ、地域と施設の連携が取ることによって被害を少なくすることができるということを学びました。珠洲市立珠洲焼資料館では、珠洲焼の工房自体が地震の被害を受け、観光客などに買ってもらう事ができず売り上げに困ったお話を伺いました。そして、歴史的なものであるがゆえに保護・修繕が難しいので防災の必要があり、担い手などの人材が不足しているため、魅力を発信していく必要があることを学びました。

現地での活動後は、珠洲市の魅力についてより多くの人に知ってもらうための観光マップの作成を通して、魅力を発信することに取り組んでいます。珠洲市の復興と活性化を応援していきます。



部活動報告

サッカー部

1部リーグ最下位（2部降格） 2年連続Jリーガー誕生

一昨年、創部初めての1部残留（7位）、Jリーガー誕生という結果を残し、1部定着を狙って挑んだ2023シーズン。前期リーグは主力をケガなどで欠く試合が多く、安定したメンバーがそろわないまま開幕から敗戦を重ね、1勝10敗という非常に厳しい結果で折り返すことになりました。後期リーグは主力がコンディションを上げて巻き返しを図りましたが、対等な内容こそ展開するも大事な場面で失点を重ねて順位を上げられないまま降格が決まってしまいました。少しの歯車の狂い、チームマネジメントの問題など、ごまかしのきかない1部リーグで戦い続けるために多くの課題を突き付けられたシーズンでした。

そんな中でも、主将の奥村 仁（社会福祉学科／4年）が、創部初のJ1リーグ内定。いくつかのオファーをもらい、より高いレベルでチャレンジしたいという強い思いからアルビレックス新潟への加入を決めました。大学として2部降格が決まり、本人も非常に悔しい結果に終わってしまったので、プロの舞台でのさらなる活躍に期待していただければ幸いです。

勝負の世界で安定した結果を残していくために、より盤石な基礎を築いていかなければならないと改めて感じました。クラブ理念である『選ばれるクラブに』を目指し、今後も地に足をつけて活動して参ります。



陸上競技部

活動成果報告

2023年7月に大学内の練習環境がパワーアップいたしました。従来は土のグラウンドだった部分に90m×4レーンの跳躍ピット兼走路および走高跳用エリア（いずれもオールウェザー舗装）、人工芝のトレーニングエリア、トレーニング器具用倉庫が新設され、砂場の拡張も行われました。特に新設された跳躍ピット兼走路は、国内の大学でも最大級の素晴らしい設備となりました。既存のトラック部分と合わせて、ますます練習の効果・効率を上げて競技力向上を図ります。



今年度は日の出医療福祉グループ様、和進産業有限会社様がスポンサーになってくださり、部としてもより一層気が引き締まるシーズンでした。全国大会出場のべ7回、関西レベル以上の大会での表彰台（3位以上）のべ10回、入賞のべ17回と、部員が思う存分に力を発揮しました。今シーズンはさらなる飛躍を目指して、既に始まっている冬季練習にしっかりと取り組みたいと思います。

引き続きご指導、ご声援のほど、宜しくお願い申し上げます。



剣道部

全日本女子学生剣道優勝大会ベスト16

第47回関西女子学生剣道優勝大会にて女子団体ベスト8となり、第42回全日本女子学生剣道優勝大会に出場いたしました。

結果は、1回戦明星大学（関東）、2回戦山形大学（東北）に勝利、3回戦駒澤大学（関東）に代表戦の末、惜しくも敗退しベスト16となりました。

あたたかいご声援・ご支援をいただき、全国の舞台で正々堂々と試合をすることができ、良い経験となりました。

今大会の経験を糧に次の大会に向けて部員一同頑張っています。



卓球部

パラ卓球国際大会で上位入賞

本学学生の北川雄一郎さん（社会福祉学科／3年）が今年度行われた複数の国際大会で上位入賞しました。

まず、3月に行われたスペインオープン2023にて男子シングルス クラス2-3（車いす）において第3位、続くイタリアオープン2023では入賞を果たせませんでした。6月に行われたチェコオープン2023では男子ダブルスの部において3位、8月に行われた韓国オープン2023では男子シングルス同クラスでベスト8、9月に行われたフィンランドオープン2023では男子シングルス同クラスで2位となり、銀メダルを獲得しました。

なお、全日本パラ卓球選手権大会では毎年優勝を果たしています。

北川さんはパラ卓球男子クラス3（車いす）の世界ランキングが27位（2023年11月1日付）となっており、2024年にパリで開催されるパラリンピック出場に益々期待が高まっています。



硬式野球部

室内練習場利用開始

2023年4月に完成した室内練習場の利用が開始されました。これまで雨天時や球場が確保できない日は限られたスペースでの練習とならざるを得ませんでした。しかし、室内練習場が完成し、雨天時に限らず、授業前や授業後など各自が時間を見つけてしっかりと練習に打ち込める環境が整いました。室内練習場は、縦25m×横38m全面人工芝でブルペン3レーン、バッティング4レーンが入る広さがあり、近隣の他大学にはない素晴らしい施設となっております。

大学、校友会をはじめ室内練習場建設にご尽力いただいた皆さまに感謝の気持ちを忘れることなく大切に使用し、今季こそ優勝そして、初の一部昇格を果たせるよう、チーム一丸となり頑張りたいと思います。



大学版ふるさと納税

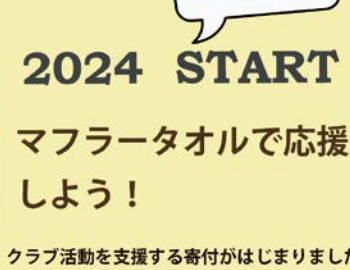
クラブ活動支援

クラブ・サークル活動を通じて豊かな人間性を育み、地域や社会に貢献する人材を育てるために。

本学では、8つの指定強化クラブと20のクラブ・サークルが活動しています。学生時代の課外活動を通じて得られる経験は、大切な人間教育の場であり、文武両道に取り組むことで真の人間性が磨かれます。クラブ・サークル活動の活動強化費用、活動環境の整備・拡張など、みなさまからのご支援が、目標に向かって努力を続ける学生の可能性を拡げるための支えになります。



関西福祉大学ご支援のお願い



2024 START

マフラータオルで応援しよう！

クラブ活動を支援する寄付がはじまりました



特設
サイト
OPEN!



<https://www.kusw.ac.jp/kifu>
大学版ふるさと納税「絆」の特設ホームページが完成しました。最新の返礼品情報を確認できるほか、寄付のお申し込みはクレジットカードによるWeb決済がおすすめです。



ひとくちメモ

- 開学／平成9年（1997年）4月
- 開設（大学院）／平成21年（2009年）4月
- 学部・学科／社会福祉学部・社会福祉学科 平成9年（1997年）4月
看護学部・看護学科 平成18年（2006年）4月
発達教育学部（現：教育学部）・児童教育学科 平成26年（2014年）4月
発達教育学部を教育学部と改称 平成30年（2018年）4月
教育学部・保健教育学科
- 大学院／社会福祉学研究科 平成21年（2009年）4月
看護学研究科修士課程 平成24年（2012年）4月
看護学研究科博士課程 平成29年（2017年）4月
教育学研究科 平成30年（2018年）4月
- 教員数／専任76名（助手含む） ●在学生数／1,486名
- 卒業生数（学部）／累計6,206名 ●卒業生数（大学院）／累計71名
令和5年12月現在



姓名・住所等変更届のお願い

姓名・住所・電話番号・勤務先等の変更がありましたら、校友会事務局までお知らせください。変更手続きはHPサイトからも可能です。

▼PCサイトはこちらから



住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物（会報誌等）が未着となりますので、必ずご連絡くださいますようお願い致します。

結婚式祝電サービス

ご結婚される卒業生の方に、校友会より祝電をお送りします。



個別校友会助成のご案内

関西福祉大学校友会では、同期会・サークルOB会等に、助成を行っています。懐かしい先生に会いに来て、ゼミ会をすることもできます。ホームカミングデーに併せて、クラス会をするのも大歓迎！是非、個別校友会活動助成をご利用ください。

卒業後も集まろう！



お問い合わせお申込みは右記までご連絡ください TEL 0791-46-2715（校友会事務局） メール koyukai@kusw.ac.jp



兵庫県プロゴルフ会連携

関西福祉大学ゴルフ部

KUSW GOLF CLUB

2024年4月創部

歴史をつくる1期生募集中！

第1回アース製薬・関西福祉大学ゴルフフェスティバル

赤穂ゴルフカップ(チーム戦&個人戦)のご案内

開催日	令和6年5月6日（月・祝）
会場	赤穂カンツリークラブ （兵庫県赤穂市鷺和字中河原909）
定員	150名+ジュニア
参加費	3,500円（高校生以下無料） ※プレー費は別にかかります （高校生以下はプレー費も無料）
参加資格	プロ、アマ問わずどなたでもご参加できます
申込締切日	令和6年4月1日（月） ※ただし、定員になり次第、締め切り
プレー方式	ローカルルール／ハーフコンペ ※ジュニアの組にはプロが帯同します
結果発表	各組プレー終了後にご確認いただき、 随時表彰させていただきます

申込み方法

お電話もしくは右記QRコードより
お申し込みください



主催・共催

アース製薬／関西福祉大学／兵庫県プロゴルフ会
〈事務局〉 関西福祉大学ゴルフ部
（担当：山戸・山根・高橋・名田）
TEL：0791-46-2500
FAX：0791-46-2501
E-mail：yamato@kusw.ac.jp

チームでも1人でも 申込みOK！

ゴルフを通じて親睦を深め、ゴルフ振興とジュニア育成に寄与することを目的にコンペを開催します。
お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

個人協賛
法人協賛
商品協賛
募集！

事務局までご連絡をお待ちしています

関西福祉大学 校友会報 第42号

●発行月 令和6年1月
●発行所 関西福祉大学 校友会
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
Tel. 0791-46-2525（大学代表）
Tel. 0791-46-2715（校友会事務局）
Fax. 0791-46-2526（大学代表）
e-mail: koyukai@kusw.ac.jp

◎次号は2024年7月発行予定!!

●大学 HP <https://www.kusw.ac.jp/>
●校友会 HP <https://www.kusw.ac.jp/koyukai/>
●校友会 Facebook <https://www.facebook.com/kuswkoyukai>
●校友会 Instagram https://www.instagram.com/kusw_koyukai/